

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	千歳科学技術大学			設置者名	学校法人 千歳科学技術大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
理工学部	応用化学生物学科	80人	高一種免(理科)	平成22年度	69人	9人	9人	1人
	電子光工学科	80人	中一種免(数学)	平成22年度	62人	4人	3人	0人
			高一種免(数学)	平成22年度			4人	
			高一種免(情報)	平成22年度			1人	
	グローバルシステムデザイン学科	80人	中一種免(数学)	平成22年度	62人	7人	6人	4人
			高一種免(数学)	平成22年度			7人	
高一種免(情報)			平成22年度	3人				
入学定員合計		240人	合計		193人	20人	33人	5人
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。 							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成27年6月19日（金）

実地視察大学：千歳科学技術大学

実地視察委員：渋谷治美委員，佐々祐之委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等については，おおむね問題無く実施されている一方，全学的な教員養成という観点では課題も確認された。
- ただし一部の教育課程について，「2.」で指摘するように，教育職員免許法施行規則及び教職課程認定基準の観点からは是正すべき点が確認されたため，その点については，速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 「自ら成長する教員の養成」という教員養成に対する理念・構想を示しているが，それを具現化するための教職課程に対する全学的な組織，教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。
- 教職課程は，「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」によって編成されるものであり，両科目を担当する教員が協力して，教職課程を運営していくことが重要である。現行においては，教職課程の運営が一部の専任教員に集中しているように見受けられることから，両科目を担当する専任教員が，教職課程の運営に積極的に参加するような仕組みを構築していただきたい。
- 教員の連携を進めるために，例えば複数の教員が協働で授業科目を担当する，両科目の専任教員が参加するファカルティ・ディベロップメントを実施する等の工夫を御検討いただきたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

- 「教職に関する科目」のうち，教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か，シラバスからは判断できない授業科目があるため，法令で扱うこととしている内容は必ず扱うように，内容を再度検討すること。
- 電子光工学科及びグローバルシステムデザイン学科の教職課程の「教科に関する科目」の必要専任教員について，適切に配置されていない状況が確認されたため，教職課程認定基準に定める必要専任教員を配置するなど，速やかに是正すること。

3. 教育実習の取組状況

- 教育実習は、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。
- e ラーニング教材の開発・提供を通じた近隣の学校との連携を活かして教育実習校の確保を進めるなど、大学独自の取組を期待する。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 学生視点で明瞭な教職課程履修ガイドが作成されていることや、教員個人が学生の現況を把握し、きめ細やかな教職指導を行っている状況が確認された。
- 今後、教職を目指す学生全てに対して一定の水準以上の教職指導が実施されるように、体系的かつ組織的に指導していくための全学的な体制の構築を御検討いただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 教職課程を履修する学生が近隣の学校において学習支援を行う、ボランティア活動や学校インターンシップ等の積極的な実施が確認された。今後単位化の検討も含め、これらの取組の更なる充実を図り、地元教育委員会・学校との連携・協力体制をより一層強化していくことを期待する。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 個人の教員研究室の中に教職支援室が設けられているが、教職課程を履修する学生がより利用しやすくなるよう御検討いただきたい。例えば、常駐の教職員やアドバイザーの配置、複数人が集まって議論できるスペースの確保など、教職支援室を整備していくことが考えられる。
- 教職課程を履修する学生が教育に関する最新の情報を入手することができるように、教科書や学習指導要領・同解説、教職関連の雑誌や教科に関する科目の専門書等について、今後より一層の充実を努めていただきたい。また、教職関連の図書は、学生が学習指導案の作成や仲間との議論、模擬授業等に利用できるように、図書館だけでなく、教職支援室にも配置することを期待する。

7. その他特記事項

- 特になし